

じんけん瓦版 第59号

発行日：2015年9月27日

発行：日本聖公会東京教区 人権委員会

「100年の^{こだま}研」上映会

「100年の研」上映会を、日本キリスト教婦人矯風会と共催で、9月5日（土）矯風会ホールで開催し、約250人もの方に見て頂きました。この映画は、1910年の大逆事件のドキュメンタリー映画です。大逆事件は、反戦、差別、貧困等の社会問題に立ち向かい世の中を良くしていこうという、自由・平等・博愛の思想を、国が弾圧するために捏造した冤罪事件です。正当な裁判もなく死刑という日本の裁判史上に最大の汚点を残した事件です。

この国の権力が、立憲主義を否定し、世論も無視して、戦争のできる国に突き進んでいます。「100年の研」上映会実施に当たって、お二人に寄稿していただきました。

大逆事件は生きている

森田麻里子（一羊会）

1) 菅野須賀子と針文字

映画は菅野須賀子が朝日新聞記者宛に出した針文字の手紙から始まります。菅野須賀子、宮下太吉、新村忠雄は大逆事件の首謀者として逮捕さ



菅野須賀子

れましたが、幸徳秋水は話し合いには関与していないことを菅野須賀子は針文字で訴えました。

旧刑法 73 条は「天皇、太皇太后、

皇太后、皇后、皇太子又ハ皇太孫ニ危害ヲ加ヘントシタル者ハ死刑ニ処ス」と大逆罪を規定しています。実行行為がなくても企図しただけで死刑になります。宮下太吉の爆弾実験の情報を得て、政府は社会主義弾圧を目的に全国一斉に検挙します。国家がデッチ上げ、平民新聞購読者が連座しました。

菅野須賀子は獄中の手記「死出の道艸」で「今回の事件は無政府主義の陰謀といふよりも、寧ろ検事の手によってつくられた陰謀」「公判廷にあ

らはれた 73 条の内容は、真相は驚くばかり馬鹿げたもの」「功名、手柄を争って一人でも多くの被告を出さうと苦心惨憺の結果は詐欺、ペテン、脅迫」と告発しています。爆弾投擲を考えただけでも大逆になることを悪用して、国家は幸徳秋水を首謀者として大冤罪を作り上げたのでした。菅野須賀子は短歌「わが清き理想を知らば神よ今もつ細筆にみたまをたまえ」を残しています。キリスト者であり社会主義フェミニストの先駆けでしたが、1911年1月25日29歳で絞首刑になりました。

2) クリスマン医師大石誠之助を記憶する

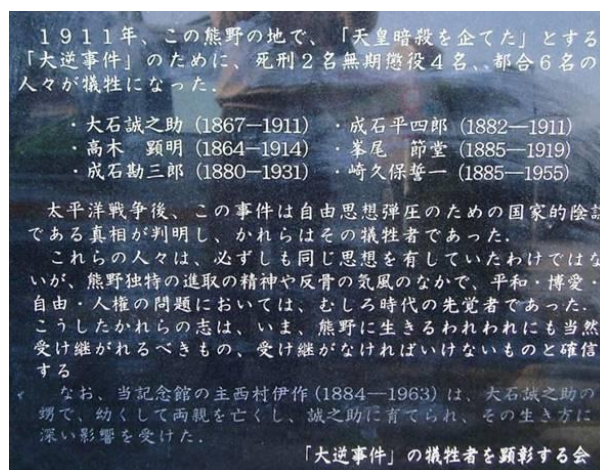
大逆罪事件は26人が起訴され、12人が死刑、12人が無期懲役になりました。映画は、無実の罪を着せられた人達もクローズアップしています。内山愚童は箱根の曹洞宗林泉寺の僧侶、高木顕明は新宮市の真宗大谷派浄泉寺の僧侶です。二人は貧困や部落差別に苦しむ門徒に向きあい、社会主義に関心を持ちました。クリスマン医師大石誠之助は、高木顕明とも交流があり、貧しい人達に無料診療を行い、地元で敬愛されていました。

大石誠之助は1867年新宮で生まれ、1884年大阪西教会にて洗礼を受けました。1890年に渡米し医師資格を習得、1896年(30歳)新宮にて医院を開業。1900年ボンペイ大学でペストなどの伝染病を研究し、社会主義の書物を読み始めます。1904年(34歳)日露戦争が始まり、2月新宮にて非戦論の演説、「平民新聞」に「国債応募の虚勢」投稿、3月新宮にて社会主義平和論の演説をします。10月自宅近くで太平洋食堂を甥と始めます。また翌年には三重県木ノ本明治座にて貧困の原因などを演説。1908年幸徳秋水が高知から立ち寄り滞在します。熊野川での舟遊びや浄泉寺で座談会を行います。幸徳秋水との交流が大逆罪のフレームアップに利用されます。

1910年5月松室検事総長が宮下、管野、幸徳、新村を大逆罪で予審請求。6月大石誠之助は東京監獄へ送られます。12月10日大審院特別部の第1回公判が開かれます。1911年1月18日(49歳)死刑判決。24日菅野以外の11名の死刑が執行。28日富士見町教会(植村正久牧師)にて遺族慰安会が開かれました。大逆を犯した者には葬儀は許されず、新宮南谷墓地の納骨も未明の時でした。

3) 冤罪は最大の人権侵害

私は2009年5月～6月朝日新聞夕刊に掲載された「ニッポン人脈記 ～大逆事件残照」の「心優しき『ドクトル大石』(大石誠之助)」を読み、深く心動かされました。大逆事件の真実を知らなかったと同時に100年前に国家に抗い、非戦を主張したクリスチャンがいたことに驚きました。新宮市南谷墓地の大石誠之助墓と高木顕明の真宗大谷派メモリアルを訪ね、明科の爆弾実験場所、甲府光沢寺の宮下太吉墓、箱根林泉寺の内山愚童墓、熊本の松尾卯一太墓などをフィールドトリップし、100年前に思想弾圧された人々の思いを辿りました。そして刑死100年の2011年に「クリスチャン医師大石誠之助さんを記憶し、公正な裁判を求める祈りの会」を「一羊会」として主催し、哲学者の高橋哲哉さんに「逆徒の記憶と現在」というテーマでお話をさせて頂きました。



大逆事件犠牲者の顕彰碑・新宮市

クリスチャン医師大石誠之助は日本のキリスト教界の宝として周囲の人達に伝えてきた私にとって、人権委員会が「100年の筈～大逆事件は生きている」を上映して下さることは大きな朗報でした。その上に2回目の上映後トークセッションで10分スピーチの時間を頂きました。2回の上映で200人を超える方が大逆事件の真実を知って下さいました。上映会にお出で頂いた皆様に感謝の思い一杯で、スピーチを致しました。

大逆事件は国家による冤罪です。冤罪は今もあります。国家によるでっち上げではないにしても、明らかな冤罪と分かっているにもかかわらず、再審が開かずの扉で、無罪判決を獲得することが困難な状況です。「一羊会」が支援している仙台北陵クリニック事件の守大助さんは仙台高裁に再審請求をしていますが、三者協議すらもなかなか進みません。強引な取り調べを受け、守大助さんは疲労感と恐怖心で自ら罪を認めてしまったために、その後裁判で無実を訴え続けても無期懲役が確定してしまいました。私は会場の皆様に今もある冤罪の苦しみについてお話をさせて頂きました。

100年前に非戦を訴え、貧しい人達の苦しみに寄り添った大石誠之助は国家権力によって殺されました。大逆事件は日韓併合と表裏の事件です。100年前国家によって潰された「自由 平等 博愛」への希望を私達は大切な平和への力として自覚したいと思います。100年の筈に耳を澄まし、大逆事件の真実を心に刻んでくださるようお願い致します。

「命を喰って出世」

清瀬聖母教会牧師 司祭 井口 諭

サマリアの王アハブは、自分の宮殿のそばにあるナボトのぶどう畑を自分の菜園にしたいと思い、ナボトに譲ってくれるように頼みます。替わりのぶどう畑か、代金を銀で払ってもよいと言いますが、ナボトは先祖から伝わる嗣業の土地だから譲ることはできないと応えます。アハブ王は、機嫌を損ねて沈みます。そこに妻イゼベルが来て、どうしたのかと尋ねます。あなたはイスラエルの王でしょう。わたしが、ナボトのぶどう畑を手に入れてあげますと言ひ、ナボトの町の長老や貴族に手紙を書きます。断食を布告して、ナボトを最前列に座らせ、ナボトが神と王を呪ったと証言させて、ナボトを石で打ち殺せというのです。ナボトは、ならず者たちの証言によって石で打ち殺されます。妻イゼベルは、夫アハズにナボトを殺したからぶどう畑を自分のものにしなさいと言います。主なる神は、預言者エリヤにアハブに告げよ「おまえは、人を殺してぶどう畑を自分のものとするのか。犬がナボトの血をなめたところで、おまえとイゼベルの血を犬がなめる」というのです。（列王記上 21 章）

「100 年の罨（こだま）」は大逆事件で、無実の罪をきせられた人々の冤罪の記録です。20 数名を起訴した中心人物は大審院検事局次席検事の



トークセッション（左から、司会者、井口司祭、千原卓司（製作者）、川野安子（矯風会理事長）

平沼騏一郎でした。12 名を絞首刑に、他 12 名を終身刑にしました。平沼騏一郎は、津山藩士平沼晋の次男として生まれ、5 歳で上京し、11 歳で東京大学予備門入学、21 歳で帝国大学法科大学（のちの東京帝国大学法科大学、戦後の東京大学法学部）を首席で卒業しました。第 1 次桂内閣の時、実業界の資金不足解消のため、社債信託法を一人で立案し成立させました。また、1908 年犯罪者の前科記録のため、指紋による前科登録を導入しました。この二年後の 1910 年、最大の冤罪事件である大逆事件をつくりだします。1913 年には、裁判所・判事・検察に関する法律をつくり、229 人の判事・検事を休・退職に追い込み、443 人を異動させました。1923 年第 2 次山本内閣にて司法大臣、1924 年貴族院議員、1926 年男爵、1936 年枢密院議長に就任、1939 年内閣総理大臣にまでのぼりつめます。敗戦後、1948 年 A 級戦犯として終身禁固刑を受け、1952 年病気仮釈放後、間もなく死亡しました。

観念右翼といわれる平沼騏一郎は、保守的国粹主義者であり、民主主義、社会主義またナチズムやファシズム、共産主義という外来思想を常に危険視して、思想取り締まりを国本社を通して行っていました。戦時下では、和平推進派とみられていたようですが、そうでもないところもあり、「昭和天皇独白録」では「結局、二股かけた人物であるというべきである」と記されています。自分の出世のためには手段を選ばないという人物であったようです。平沼騏一郎の出世物語の中で、大逆事件は無実の人々をでっちあげの冤罪で 12 人を絞首刑、12 人を終身刑にするという恐怖を利用して、自分の出世の出発点としたのです。絞首刑にした 12 名には墓さえ建てることを禁じましたが、自分の墓は多磨霊園にあります。犬でさえも平沼の墓をなめたりはしません。

打田茉莉さんを偲ぶ

7月27日午前10時20分頃、打田茉莉さんが安らかに逝かれました。

打田さんは、1990年東京教区に人権委員会が設置された当初から委員に加わり、2002～2009年まで人権委員長を務められました。「教会が人権問題に無関心であることは、差別の助長に加担すること、福音宣教の使命を阻害すること、そして、差別される状況に置かれた人びとに対して、教会の門を閉ざしていることにもなる」と、差別されている隣人に寄り添い、裁判傍聴、国会院内集会、検察・裁判所申し入れなど、一緒に声を上げて行動されていました。

晩年、ご自身が癌を患い抗がん剤治療を続けながら委員会や集会に出席されるお姿が心に残ります。5/23 難キ連チャリティコンサートで痛々しいお姿にお会いしました。この席でコンゴ出身難民申請者のMさんから、難民不認定の取り消しを求める裁判の話の話を打田さんと一緒に聞きました。その後9/16勝訴が確定しました。報告できたらさぞ喜ばれたことでしょう。

打田茉莉さんに豊かな祝福が与えられますよう祈ります。そして、たくさんのごことを感謝したいと思います。茉莉さんありがとうございました。

日の丸・君が代」強制の即時中止を求め、強制に立ち向かう人、苦しむ人のために祈る

祈りの会

～第15回・信教の自由を求めて、キリスト者のつながりを～

拒否したがために処分を受けたすべての教育関係者、特にキリスト者の教員、また「日の丸・君が代」の強制によって苦しんでいるすべての人々を覚え、「日の丸・君が代」の強制がなくなるまで、イエス・キリストの愛に基づく「正義と平和」を求め、ともに祈り続けたいと思います。祈りは力です。

日時：2015年10月17日（土） 14：00～16：30

場所：浅草聖ヨハネ教会（都営地下鉄 蔵前駅5分）

14：00～ 祈りとメッセージ

岡田明さん（JECA 主都福音教会・都立高校教員）

15：00～ 懇談会

岸田静枝さん「修正処分取消訴訟」地裁判決について、他

主催：「日の丸・君が代」強制に反対し、
信教の自由を求める超教派キリスト者の会
共催：東京教区人権委員会

守大助さんに手紙を

仙台北陵クリニックえん罪事件で、
再審請求を戦っている守大助さんを支えてください。
ひとこと励ましのメッセージを送ってください。

[宛先]

〒264-8585
千葉県千葉市若葉区貝塚町192
守大助様